

令和5年7月1日発行

かわら版三十八号

特定非営利活動法人

小保・榎津藩境のまち保存会

大川市大字榎津523番地
電話・FAX 87・0931

小保・榎津まちづくりフォーラム

NPO法人小保・榎津藩境のまち保存会 令和5年度自主事業

NPO法人小保・榎津藩境のまち
保存会が令和5年度自主事業と
して、講演会を開催します

日時 7月30日(日)

開演 10時00分
受付 9時30分

会場 ワークピア大川 入場無料 申込不要

趣旨

今年度より大川リビルディング事業が始まりました。その第一弾として、小保・榎津藩境のまちを活用した観光まちづくりが進められ、福岡県の有形文化財に指定されている旧緒方家住宅が観光まちづくりの施設として整備されます。

小保・榎津の歴史的町並みに残る、質の高い伝統的建造物や、神社、寺院、また、木工業発祥の地として、現在も建具や家具の製造が行われている点が評価され、この町並みが、インバウンド事業の受け入れ環境として、整備されることになりました。私たちが「藩境のまちづくりを考える会」の立ち上げ以来行ってきた町並み保存活動が成果を上げ、町並みの価値が周知されたことは嬉しい限りです。

今回、倉重大川市長より「大川リビルディング事業について」と題し、講演を頂き、この事業が創出する三つの経済効果についてお話しいたきます。経済効果の一つ「まちの元気」の創出を担う小保・榎津の町並みを、より魅力あるものとするにはどうすればよいのか？

パネルディスカッションでは、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを実践されているスペシャリストの方々に、貴重なご意見を伺います。

内容

基調講演 倉重良一氏

福岡県八女福島・和歌山県湯浅からの報告

パネルディスカッション

小田切俊彦 (株)つぎと九州

北島力 NPO法人まちづくりネット八女

内田一平 (株)つぎと

村尾 秀樹 小保・榎津藩境のまち保存会

